

令和6年度 田崎中学校グランドデザイン

学校教育目標及び校訓

- 〈義務教育9年間の目標〉 豊かな人間性を備え、力強く未来を切り拓く児童生徒の育成
 〈田崎中目標〉 豊かな心と知性を持ち、心身ともに健康で、たくましい実践力を備えた生徒の育成
 〈校訓〉 向学・協力・自律・奉仕

【キャッチフレーズ】 開かれた学校田崎中 〈学校・家庭・地域の確かな連携〉

《めざす教職員の姿》	《めざす生徒の姿》	《めざす学校の姿》
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育公務員としての自覚と使命感に燃える教職員 ○ 職場は明るく、職務には厳しく努める教職員 ○ 「厳教慈育」自信をもって指導する教職員 ○ 生徒と共に感動し、信頼される教職員 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら考え、進んで学ぶ生徒 ○ 思いやりの心を持ち、互いに協力する生徒 ○ 健康でたくましく、礼儀正しい生徒 ○ 勤労を尊び、進んで奉仕する生徒 ※ 青少年赤十字活動 態度目標 「気付き」、「考え」、「実行する」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秩序と温もりのある学校 ○ 明るいあいさつがこだまする学校 ○ 整然として美しい学校 ○ 師弟ともに全力をつくす学校 ○ 地域と共にあり、地域と共につくる学校

【学校経営の基本方針】

- (1) 「人権教育はすべての教育の基本である」という認識の下、その徹底・充実を図るために、学校経営の根幹に位置づける。
- (2) 公教育の立場に立ち、関係法規及び県・地区・市の教育行政の重点施策を踏まえ、人間尊重の視点に立ち、学校や地域の実態及び心身の発達の段階や特性等を考慮して、人間として調和のとれた育成を目指す教育の充実に努める。
- (3) 生徒、教師及び保護者相互の信頼関係を基盤にして、生徒理解を深め、常に生徒を中心に置いて考え、生徒の心を大切にす教育実践に努める。
- (4) 教育者としての使命の自覚と、喜びと誇りを持ち、自己実現のために常に研修に励み、専門職としての教養と識見を高め、全力を傾注して活力ある田崎中学校の創造に努める。

〔重点課題〕

家庭との確かな連携	<p>〈知〉 確かな学力の向上</p> <p>PDCA3サイクルの推進・・・学力向上推進委員会、教科部会によるC（評価）、A（改善） 1 授業の充実（授業改善） 田崎中授業スタイルの実践 → (1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 (2) 演習問題の計画的な実施と問題の分析による授業改善 (3) 個別指導（補充・発展）の徹底（個別最適な学び） 2 授業を通じた研修の充実 (1) 教科を越えた研修、研究授業、外部講師招聘 (2) 相互授業参観、田崎中中オープンスクールの相互実施 (3) 校外研修（教科）への年2回以上の参加（研修の還元） 3 学業指導の徹底 (1) 基本的学習習慣系統表（授業・家庭）に基づく指導 (2) 人権同和教育の視点に立った一人一人が大切にされる授業づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題提示、流れの確認、まとめの板書（めあてとまとめの整合性） ② 思考の可視化された構造的板書 ③ 主体的な活動の場の設定 ④ ICT機器等の効果的な活用 ⑤ 定着の見届け、補充指導（演習問題の活用） ⑥ 振り返りの工夫 	地域との確かな連携
	<p>〈徳〉 豊かな心の育成</p> <p>【I】心に届く生徒指導の充実 1 基本的生活習慣の確立（挨拶・服装・時間厳守等）→情報共有、一事徹底事項の共通実践 (1) 共通理解と協働態勢による指導（全校指導体制の確立） (2) 生徒の自治的活動の推進 (3) 校則見直しによる生徒の主体性の育成→校則検討委員会の積極的な運用 2 教師・生徒、生徒相互の信頼関係に基づく指導の充実 (1) 「学年チーム担任制」の実践→全体で全体を見る。人任せにしない教育実践。 (2) 生徒理解に基づく個別指導→「生活の記録」の見直し、「学校楽しいーと」等の活用。 3 いじめや不登校、問題行動等に対する指導の充実 (1) いじめ防止基本方針の共通理解と対応の実践→「いじめ対策必携」の活用 (2) 実態の適切な把握と情報共有・組織的対応→毎月アンケート実施、関係機関との早期連携 (3) 「いじめ問題を考える週間」の取組の充実 (4) 情報モラルに関する指導の実施 (5) 不登校生徒の居場所づくりと学習支援の充実→全校体制による支援、タブレットの活用 【II】道徳教育の充実・・・考え、議論する道徳の授業の充実、道徳実践の推進 等 【III】人権同和教育の充実・・・教職員の人権同和教育に対する正しい認識、人権意識の高揚 等 【IV】生徒会活動の活性化・・・青少年赤十字活動の態度目標を意識した活動の活性化 【V】読書指導の充実・・・読書の啓発と習慣化（読書目標「1カ月3冊以上」） 【VI】環境教育の充実・・・清掃活動の徹底と校内環境の整備（縦割り班、無言清掃、見届けと評価） 【VII】進路指導の充実・・・キャリア教育の充実（キャリア・パスポートの活用）</p>		
	<p>〈体〉 体力・健康づくりの推進</p> <p>1 体力・気力の維持と向上 (1) 鹿屋体育大学と連携した教科体育の充実→体力テストの実施・活用と補強運動（Exseed）の実施等 (2) 日常的な運動習慣の形成、基本的生活習慣の確立（チャレンジかごしま、部活動での適切な指導） 2 健康教育の充実 (1) 保健指導の充実→健康観察・感染症予防対策の徹底、疾病治療の促進、フッ化物洗口の計画・実施 (2) 食に関する指導の充実→給食準備・給食マナー、食物アレルギーへの適切な対応 3 安全教育、防災教育の充実 (1) 交通安全指導の徹底→自転車点検と交通安全指導の徹底、歩行者の交通マナーの指導と防犯指導 (2) 防災訓練（火災、風水害、地震、不審者等）の充実</p>		
	<p>小中一貫教育の推進</p> <p>1 小中一貫教育の充実（9年間の連続性のある学びの具現化を目指す） ○ 小中一貫ワークシートに基づく取組（授業力向上に向けた協働、学びを支える生活指導の協働） 2 コミュニティ・スクールの充実・・・コミュニティ・スクールの評価機能の活性化</p>		
	<p>教職員の資質向上等</p> <p>1 研修等の充実・・・テーマ研究の推進、一般研修の充実、自己研修への積極的な取組 2 業務改善の推進（生徒と向き合う時間・教材研究の時間確保） 3 服務規律の厳正確保（交通事故・違反、体罰等のない信用失墜行為ゼロの学校） ○ 年間指導計画に基づく計画的指導と適時指導、個に応じた指導の徹底</p>		

【共通実践事項】

- | | |
|---|---|
| <p>[学校] 〈知〉 ICTの活用と振り返りを位置づけた授業改善
授業と連動した宅習課題の提示と見届け</p> <p>〈徳〉 語先後礼のあいさつの取組
思いやりの心を育む取組（SGE、いじめ防止、リレーションづくり等）</p> <p>〈体〉 個々の摂取量、特性に応じた給食指導
交通マナーの向上（交通事故防止の徹底）</p> | <p>[家庭] 〈知〉 学習用具の準備への声かけ
家庭学習の時間の確保</p> <p>〈徳〉 親子語らいの取組（学校生活、進路）
家庭での役割分担の実行</p> <p>〈体〉 「早寝・早起き・朝ごはん」（朝食摂取の徹底）
健康診断後の疾病等の早期治療</p> |
|---|---|

